

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月20日

事業所名 楽しく療養通所プルーンベリーハウス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			定められたスペースが確保されている。現在感染対策として利用者同士のスペース確保も行っており、周知していく
	2	職員の配置数は適切である	9		毎日、職員の勤務形態を記録して適切な運営を行っている	児童指導員、看護師の加配加算を取得している
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9		ワンフロアの開けた環境で、見渡しやすく、安全に配慮されており、手すり等の福祉用具、スロープにより、バリアフリー化されている	今後も継続する
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9		感染症対策も含めて使用した物品、場所において、毎日洗浄、消毒を徹底している。利用者毎に配置や、物品を本人に合うように決めている	今後も継続する
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1		研修にて、実施しているが周知を図る
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		本事項について職員が理解できている。	保護者から得られた意見を公開し、業務改善につなげている
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9		事前に職員に取り組みを周知してから自己評価を行い、意識向上につなげている	本事項について職員が理解できている。今後も継続していく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	3		第三者評価は行ってないが、評価結果をもとに業務改善を行う
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		外部研修を導入し、職員の資質向上に努めている	個別に資質向上のための研修計画を立案し、実施している
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9			定期的なアセスメントを行い、ニーズを分析し、同意が得られている。今後も継続していく
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1		契約時に当社のアセスメントシートに利用者、家族が記入し、活用されている
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9		本事項について職員が理解できている。児童発達支援のガイドラインに沿って計画を作成し、計画書に沿った支援を提供できている。	今後も継続する
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9		本事項について職員が理解できている。	今後も継続する
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	全職員から意見を集め、立案時に検討することが出来ている	職員への説明定期的に行い、立案方法を検討する
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		全職員から意見を集め、立案時に検討することが出来ている	今後も継続する
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	2	子供の状況、体調に応じて、複数の活動を組み合わせる計画を作成している	今後も継続する

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		毎日の朝礼で、本日の支援の確認、業務内容の打ち合わせを行っている	今後も継続する
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1	勤務にばらつきがあるため、朝礼時に振り返りを行っている。また、参加できない職員へ専用のノートを用いて共有を行っている。	今後も継続する
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		毎日支援について記録し、家族と共有して意見を交換している。	今後も継続する
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9		定期的に予定を決めて、モニタリングを行っている。	今後も継続する
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		児童発達支援管理責任者が必ず参加している	今後も継続する
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9			適宜、連携を行っている
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	9			適宜、連携を行っている
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	9			適宜、連携を行っている
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	4		対象者が存在しないため、実施なし。職員に現状の取り組みについて説明する機会を設け、周知させる
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	3		対象者が存在しないため、実施なし。職員に現状の取り組みについて説明する機会を設け、周知させる
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	1		適宜、連携を行っている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	7		現在感染症対策の為、外部との接触を行っていない。職員に現状の取り組みについて説明する機会を設け、周知させる
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	7		現在感染症対策の為、外部との接触を行っていない。職員に現状の取り組みについて説明する機会を設け、周知させる
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		専用のノートを設け、保護者と毎回意見、情報の交換を実施している	今後も継続する
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	1	個別に支援内容、支援方法を伝え、共有している。質問を受け、回答する。ペアレントトレーニングの名称を周知していく	今後も継続する	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		契約時に書面で順に説明し、理解されたか確認しながら進めていき、同意を得ている	今後も継続する
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9		ガイドラインを用いて説明を行い、同意を得ている	今後も継続する

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		支援ごとに、保護者と毎回意見、情報の交換を実施している。不安、意見等があった場合は直接話を聞いて、解決している	今後も継続する
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	8		現在、感染症対策で実施していない。職員に現状の取り組みについて説明する機会を設け、周知させる
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9		適宜行っている。解決までのフローチャートを作成し、取り組んでいる	今後も継続する
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1	広報誌を年二回作成し、配布している。活動ごとに案内を行い、実施している	今後も継続する
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9		個人情報は営業時間外は鍵付きのロッカーに保管し、施設外の持ち出しを禁止している	今後も継続する
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		保護者と協力し、知識面、環境面で意思をくみ取れるよう工夫を行っている	今後も継続する
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	6		現在感染症対策で実施していない。職員に現状の取り組みについて説明する機会を設け、周知させる
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9		各マニュアルを作成し、重要事項説明書に記載している。実施時に記録を残している	今後も継続する
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		年2回の訓練を実施している	今後も継続する
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9		事前に情報を共有しており、非常時の対応をマニュアル化している	今後も継続する
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	7		食事の提供がない。職員に現状の取り組みについて説明する機会を設け、周知させる
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		ヒヤリハット集を作成し、委員会、会議において共有出来ている	今後も継続する
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		すでに研修を実施しており、今後も定期的に行う予定である	今後も継続する
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9		規定があり、実施、職員への周知が出来ている。	今後も継続する

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。